### 文化財を訪ねる

# かみのかわ山さな旅

## 関宿通多功道を歩く(多功・天神町・鞘堂)

通る脇街道でした。現在の県道結城・石橋 県境町・結城市、 線とほぼ同じルートになります。 にて日光道中に合流する日光道中の東側を 南河内町から上三川町の多功に至り、鞘堂 千葉県の旧関宿町 ます。この街道は名前からわかるとおり、 東街道とも呼ばれた関宿通多功道を紹介し 先月は日光道中を紹介しましたが、 栃木県小山市を通り、旧 (現:野田市) から茨城 日光

タートです。 上三川町で唯 物流の大動脈として賑わいました。今月は、 宿河岸から利根川を使い舟で江戸を結ぶ、 で混雑することから、この道は境河岸や関 日光道中は、 の宿場町だった多功宿がス 日光東照宮への参拝者など

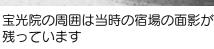
道を、

には、 町の名木古木の一つである推定樹齢250 年の宝光院のエノキがあり、 300年が過ぎた現在の宝光院の門前にも、 町指定文化財がある宝光院の前の道の中央 残す本陣・問屋が描かれています。 での街道の道幅は55 m、 分間延絵図」には、 した。江戸時代に幕府が作成した「五街道 在の多功十字路付近にありました。宿付近 多功宿は、明治南小学校の西にある、現 「市ノ神榎」 市場に祭られ、 」が描かれていますが、約 現在は門だけが面影を 取引をまもる神様で 家数が133軒で 当時の光景を また、

思い浮かべることができます

がら、その存在を知っている人が少ない街 宿通多功道は分断されてしまい、当時の道付近)の手前で、JR宇都宮線によって関 が、日光道中と合流する追分(現在の鞘堂 現れます。ここから1㎞ほど東に離れた場 をたどることができなくなってしまいます。 ると、当時と同様、 在はその痕跡もありません。天神町を過ぎ 所には、 て当時天神と呼ばれた多功天満宮が左手に 関宿通多功道は主要街道の一つでありな 多功十字路の交差点を北上すると、 木田権現が描かれていますが、 畑の中を道が進みます 現





#### 道の一つです。この忘れられてしまった街 むかしの旅人のように歩いてみませ

#### 念郭 000 **‡**\$1

#### 岡島秀宝

選

乗る客も知人となった始発バス

石  $\mathbb{H}$ 大島昇太郎

柳田 政孝

雨あがり相々傘へまだほてり

蒲生

出来栄えへぽとりと落ちた玉の汗 上蒲生

菅原

妙子

十六のスカート足を自慢する

石 田

物忘れメモを頼りに書く日記

大

町

大八木トク

チイ

柳田キミ子

行列で買ったくじにも見離され

 $\mathbb{H}$ 

子が巣立ち大きな家に共白髪

行列に行列してるカメラマン 上蒲生

渡辺

文子

 $\mathbb{H}$ 大塚

石 ナカ

お付き合い世代交代知らぬ顔

上蒲生

菅沼

マサ

振り向けば平々凡々ありがたい

上蒲生 柳田 智江

